

令和3年度 事業報告

1) 登録者：令和3年度は56名の純増があったので、合計は18,315名である。

(資料1枚目参照)

《純増の内訳》

一般	7名	長崎中央LC	2名	長崎南LC	2名
長崎みなとLC	1名	出島LC	3名	諫早LC	12名
諫早中央LC	9名	諫早セントリオンLC	1名	諫早東LC	4名
多良見LC	1名	大村中央LC	5名	島原LC	2名
深江布津LC	1名	長与LC	3名	佐世保中央LC	2名
佐世保南LC	1名				
					合計 56名

2) 摘出角膜・眼球について

(1) 摘出角膜利用状況は以下のとおりである。(令和4年3月31日現在)

(資料1枚目参照)

献眼者数	31名
摘出角膜数	62眼
移植利用角膜数	45眼 (12眼は、昨年度以前の保存眼を使用)
保存眼数(表層移植用)	14眼

※21眼は感染症検査陽性等で利用不可のため廃棄処分にした
(うち6眼は、昨年度以前の保存眼を廃棄)

(2) 長崎県の角膜移植待機患者数(令和4年3月31日現在)

長崎大学病院	160名	長崎医療センター	0名
佐世保市総合医療センター	0名		

計160名

【参考】角膜移植待機患者人数(過去15年分)

平成19年度末：24人	平成20年度末：21人	平成21年度末：17人
平成22年度末：17人	平成23年度末：19人	平成24年度末：33人
平成25年度末：51人	平成26年度末：61人	平成27年度末：73人
平成28年度末：95人	平成29年度末：93人	平成30年度末：91人
令和元年度末：109人	令和2年度末：127人	令和2年度末：160人

3) 角膜の広域あっせんについて

他アイバンクへ5眼の角膜をあっせんした。

久留米大学アイバンク	3 眼
鳥取県臓器・アイバンク	1 眼
読売光と愛の事業団アイバンク	1 眼

4) 会議・セミナー

(1)第 21 回 理事会（書面による決議の省略） 令和 3 年 6 月 7 日

内容：令和 2 年度事業報告・収支決算の承認
 献眼等推進委員の選任

(2)第 10 回 評議員会（書面による決議の省略） 令和 3 年 6 月 29 日

内容：令和 2 年度事業報告・収支決算の承認
 理事、評議員の選任

(3)第 22 回 理事会（書面による決議の省略） 令和 3 年 12 月 21 日

内容：長崎大学眼科への寄附および補正予算案承認

(4)第 44 回 全国アイバンク連絡協議会

令和 4 年 2 月 25 日 オンライン（浜崎）

(5)第 23 回 理事会（書面による決議の省略） 令和 4 年 3 月 17 日

内容：令和 4 年度事業計画・収支予算の承認
 「公益財団法人長崎アイバンク医学基準」メンバー任命
 「献眼業務に関する報酬規程」の制定
 顧問の選任

※九州各県アイバンク連絡協議会は、本年度の開催はなかった。

5) 厚生労働大臣の献眼者に対する表彰について

厚生労働大臣の献眼者に対する表彰者は 31 名である。

6) 賛助会員について（令和 4 年 3 月 31 日現在）

・個人：5 名（新規 1 名） ・団体、法人：18 組織（新規 1 組織）

7) 普及啓発活動等

(1)目の愛護デー無料検診

令和 3 年度は昨年度と同じく、新型コロナウイルス感染症の流行に鑑み、検診は行わず長崎アイバンクに登録した対象者へ、検診中止の旨と長崎アイバンクの現状を文書にして送付した。

8) その他報告

(1)令和3年12月16日

サンプルエールにて長崎北ライオンズクラブ忘年例会が開催され、業務執行理事 上松聖典が出席し、長崎アイバンクへの寄附金を受けた。

(2)令和3年6月14日および令和4年3月14日

理事長 北岡隆が、(公財)日本アイバンク協会評議員会(オンライン)に出席した。

(3)長崎大学病院眼科助教 草野真央氏と当法人事務局 浜崎幸子が、一般社団法人日本組織移植学会認定コーディネーターの資格を取得した。認定期間は令和3年4月1日から令和6年3月31日である。